

平成 29 年 7 月 21 日

2017 年度 東京講演会へのご案内

公益財団法人木村看護教育振興財団
代表理事 木村憲司

1 2017 年度 東京講演会について

木村看護教育振興財団は、平成 3 年の設立以来、27 年にわたり看護職の皆様への助成事業を実施しており、米国メイヨークリニック研修 212 名を含む海外研修 717 名、看護研究 236 件、看護に関する講演会 72 回、108 名への CNS 奨学金給付型助成を行ってまいりました。

さて、当財団は、今年度も 11 月 11 日（土）に東京霞が関でメイヨークリニックのナースを迎えて、東京講演会（第 74 回講演会）を開催します。テーマは「地域の人々の暮らしを支える医療看護介護の取組みを注目事例から学ぶ」です。

ご案内の通り、「地域医療構想」は 2025 年問題に対応する仕組みとして法律に位置づけられ、本年 3 月までに全都道府県で策定が終わりました。対象圏域の医療看護介護はそれに沿って再構築されていきます。昨年の講演会では、松田晋哉産業医大教授から、膨大な医療情報を用いて描かれる地域の傷病構造の現在と将来の姿が紹介され、将来への対応の重要性を学びました。本年度は、地域医療構想についての理解を基に、地域の人々の暮らしを支える、高度急性期から在宅領域にわたる様々な取組みから学び行動する機会としたいと思います。

東京講演会は 2 つの基調講演とパネルディスカッションからなります（別紙「概要」）。

最初の講演は（公財）笹川記念保健協力財団の喜多悦子会長です。国際保健分野で医師として活躍された後、日赤九州国際看護大学学長の時に「これからの社会は看護師が変える」との考えを抱き、4 年前に訪問看護の起業をめざす看護師を育成支援する事業（8 カ月間）を始め、既に 28 名（本年 7 月末現在）が開業しています。看護師への期待、育成事業の展望などの話が期待されます。2 番目はメイヨークリニックからです。昨年の本講演会でも紹介された隣接州に拡大している同クリニックの医療システムについて、今回は伝統的な看護と同システムの融合等が語られる予定です。

パネルディスカッションは、三輪恭子氏（よどぎり医療と介護のまちづくり（株）事業部長）の進行の下、3 つの報告があります。第 1 は東京世田谷で活動する桜新町アーバンクリニック。遠矢純一郎同クリニック院長から在宅医療の取組み全体を、訪問看護ステーション及び看護小規模多機能居宅介護施設について片山智栄所長から取組みの実際が語られます。第 2 は京都府看護人材交流支援事業の話です。2015 年 4 月から京都府の委託を受けて京都大学病院がセンターとなり地域医療機関と行っている人材交流事業の実績、収穫や課題について、同病院の井川順子看護部長、交流事業に参加した看護職及び受入機関の管理者の話を予定しています。そして、救急から入院までのケアの連続性の確保についてメイヨーの CNS の登壇も予定しております。

2 日時及び場所

講演会 平成 29 年 11 月 11 日（土）13 時 30 分～17 時 30 分
東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 灘尾ホール 03-3580-0988
パーティ 同上 18 時～19 時 30 分
霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート西館 37 階 霞山会館 霞山の間 03-3581-0401

3 ご案内

万障お繰り合わせの上、本講演会にお出で下さるよう、ご案内申し上げます。なお、講演会、パーティはいずれも無料となっております。

本講演会及びパーティに参加ご希望の方は、別紙「2017年度東京講演会等への参加のご意向について」にご記入頂き、当財団宛てにメール又は FAX にてご連絡下さいますようお願いいたします。なお、定員には限りがありますので、ご希望に添いかねる場合もございます。ご了承下さい。

敬具

公益財団法人木村看護教育振興団
事務局次長 小澤卓矢
課長 小村志津乃・中川玲子
TEL03-5800-2700 FAX03-5800-0022
Mail kimura-info@nurseed.jp

2017年度東京講演会の概要

日時 2017年11月11日(土) 13:30~17:30
 講演会会場 新霞が関ビル 全社協・灘尾ホール(最大500名)
 パーティ会場 霞が関コモンゲート西館37階 霞山会館 霞山の間(最大200名)

講演会	テーマ	「未来を拓く 看護の力」 - 地域の人々の暮らしを支える医療看護介護の取組みを注目事例から学ぶ -
	13:30~13:34 開会の辞 (総合司会)	木村財団理事・評議員
	13:35~13:41 挨拶	木村憲司 木村財団代表理事
	13:42~14:11 講演1	『在宅看護起業ナースの育成と支援 - 地域社会のハブセンターをめざすナースを支える夢』 喜多悦子氏 公益財団法人笹川記念保健協力財団 会長/ジョンズホプキンス公衆衛生大学院 シニア・アソシエイト/日本赤十字九州国際看護大学 名誉学長
	14:13~14:42 講演2	Ms. Maren R. Johnson, MSN, RN, CCRN - Nurse Manager, Medical ICU, Mayo Clinic
	14:43~15:05 休憩	
	15:05~17:25 パネルディスカッション	テーマ「 <u>地域医療看護の展開 - 在宅クリニック・訪問看護ステーション・看護小規模多機能の連携例、大学病院・地域医療機関間交流・支援の例 -</u> 」(仮) ファシリテーター 三輪恭子氏 よどきり医療と介護のまちづくり株式会社 取締役 かんご庵・まちケア事業部部長 パネリスト1 遠矢純一郎氏 桜新町アーバンクリニック 院長 パネリスト2 片山智栄氏 同クリニック ナースケア・ステーション 所長/ ナースケア・リビング世田谷中町 所長 パネリスト3 井川順子氏 京都大学医学部附属病院 病院長補佐・看護部長/ 看護職キャリアパス支援センター長 パネリスト4 幸野里寿氏 同病院 同センター 助教 パネリスト5~8 京都府看護人材交流支援事業に参加した看護職及び看護管理者 パネリスト9 Ms. Melissa R. Bitz, DNP, APRN, AGCNS-BC-Clinical Nurse Specialist, Medical Gastroenterology and Nutrition Support Service, Mayo Clinic
	17:26~17:30 閉会の辞	木村財団理事・評議員
パーティ	18:00~ 主宰者挨拶	木村憲司 木村財団代表理事
	挨拶1	公益社団法人日本看護協会
	挨拶2	公益財団法人日本訪問看護財団
	挨拶3	一般社団法人全国訪問看護事業協会
	挨拶4	Ms. Maren R. Johnson, MSN, RN, CCRN - Nurse Manager, Medical ICU, Mayo Clinic
	紹介	登壇者ご紹介
	乾杯	木村財団理事・評議員
	歓談	
	閉会の辞(中締め)	木村財団理事・評議員

2017年度 東京講演会等への参加のご意向について

【ご本人の参加について】

○お名前 _____

○ご所属・お役職 _____

○ご所属先所在地 _____

○ご所属先電話番号 _____ E-mail _____

○ご自身の電話番号(携帯) _____ E-mail _____

○2017年度東京講演会について現時点での参加意向をお教え下さい。

該当するものに○印をお願いします。(複数回答可)

() 講演会・パーティとも参加する

() 講演会のみ参加する

() パーティのみ参加する

() 予定が定かではない ⇒ () 都合がつけば参加する () 参加しない

() 参加は難しい

() その他【 _____ 】

【他の方の参加について】

○ご本人の他に参加される方がいらっしゃる場合、人数・お名前・ご所属・お役職をご記入下さい。

・講演会・パーティとも参加する () 名

お名前・ご所属・お役職 _____

・講演会のみ参加する () 名

お名前・ご所属・お役職 _____

連絡先 公益財団法人木村看護教育振興財団
事務局次長 小澤卓矢 課長 小村志津乃・中川玲子
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 8階
TEL03-5800-2700 FAX03-5800-0022 E-Mail kimura-info@nurseed.jp